

令和2年度 八本松小学校の学校づくり

<学校教育目標>

自他を尊重し、たくましく生き抜く児童の育成



「やさしい子」

- 相手を思いやり、進んで親切にする
- 時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする
- 善悪を判断し、行動する

「たくましい子」

- 基本的な生活習慣を身に付ける
- 健康や安全に気を付けて生活する
- 目標に向かって粘り強く取り組む

「かしこい子」

育成を目指す資質・能力



- 生かす力 生きて働く知識・技能を身に付ける
- 伝え合う力 自分の考えを伝え合い、発展させる
- 認め合う力 自分のよさに気づき、他者を尊重する
- 挑戦する力 自ら取り組み、粘り強くやり抜く



教育活動の充実に向けて

- 望ましい学級集団づくり
 - ・学級目標の設定によるルールの確立
 - ・よさを認め合う人間関係の構築
- 広瀬川での特色ある教育活動
 - ・動植物の観察、水質調査など
 - ・持久走会、そり遊びなど
- 図書館教育の充実
 - ・読破賞等の取組による読書の量と質の向上
 - ・松の実さんによる読み聞かせ
- 交流活動の充実
 - ・聴覚支援学校との交流
 - ・幼保小交流や小中連携の充実

主体的・対話的で深い学びを目指して

- 八小スタンダードの推進
 - ・学習習慣の確立と家庭学習の習慣化
 - ・授業や環境のユニバーサルデザイン化
- 対話的な活動の充実
 - ・言語活動を重視した授業づくり
 - ・考えを交流する活動の充実
- 校内研究の充実
 - ・授業改善に向けた校内研究の充実
 - ・OJTの充実による教職員の力量の向上
- 学力検査等の活用
 - ・結果分析による課題の明確化と授業改善

四輪駆動の学校経営 ～児童・学校・家庭・地域の連携・協働～

- ◆ 学校支援地域本部による教育活動への支援
 - ・スーパーバイザーのコーディネートによる支援
(松の実の皆さんによる読み聞かせやわらべむらの皆さんによる昔遊びなど)
- ◆ 教育懇談会や個別面談などの機会を生かした学校と家庭の連携の強化
- ◆ 協働型学校評価重点目標の達成を目指した学校・家庭・地域の協働

重点目標：言葉でつながる学校・家庭・地域の輪

